

事務事業名	公会計改革業務			会計	一般会計				
H27担当課等名	財政課	H27係等名	財政係	事業種別	経常	開始	20	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営			H26係等名	財政係		
	施策	94	効率的、効果的な行財政運営						
目的	対象(誰・何を)	市の資産及び債務			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	市民一人あたりの現役世代の負担、将来世代の負担を明らかにする 財政状況(市政経営)の分析				市の会計(一般会計、特別会計)の財政状況(単位:会計数)		16	
	向上させたい上位施策の成果指標	・一般会計積立金残高(主要4基金)を30億円程度確保する。 ・一般会計地方債残高(臨時財政対策債を除く)を235億				市の出資比率が50%以上など関連の深い第三セクター等の経営状況(単位:企業数)		10	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	ストック財産の把握(資産と負債)及び公開(公開=1)			1	1	1	1	
	定性目標								
事業概要	新地方公会計制度研究会報告書(総務省)に基づき、企業会計の手法を用いた『基準モデル』により、平成20年度決算から財務4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成し公開する。また、広域連合や第三セクター等(市が50パーセント以上出資している法人又は役員を派遣しているなど関係が深い法人)の決算を連結した財務4表も併せて公開する。								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 公会計システムの運用 2 財務4表の作成・公開 3 概要版「財務諸表の見方」の作成・公開				1 システム運用 2 財務4表の公開 3 概要版の公開		1 1式 2 1式 3 1式		
事業コスト	25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①	1,155	1,188	1,188	1,188	公会計システム保守業務				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源	1,155	1,188	1,188	1,188					
人件費計(千円)②	1,788		1,788						
正規職員所要時間	500		500						
臨時職員所要時間									
総事業費①+②	2,943	1,188	2,976	1,188					
事業内容・目標達成状況の振り返り	より分かりやすい公開資料として、新たに概要版「財務指標の見方」の作成に取組み、公開した。								
改革改善の考え方	①問題点	より分かりやすい公開資料の作成を進める必要がある。							
	②改革提案	他市との指標の比較など、客観的に飯田市のデータを分析、評価できるように取り組む。							